

地震災害時の安全

区分：Ⅲ-②

～地震発生時の危険と適切な対処について理解し、安全な行動ができるようにする～

①地震が発生した時の行動

Q：2023年に日本国内で観測された震度1以上の地震は次のうちどれでしょうか？

A：11739回 **B：2227回** C：151回 D：85回

※2022年⇒1964回

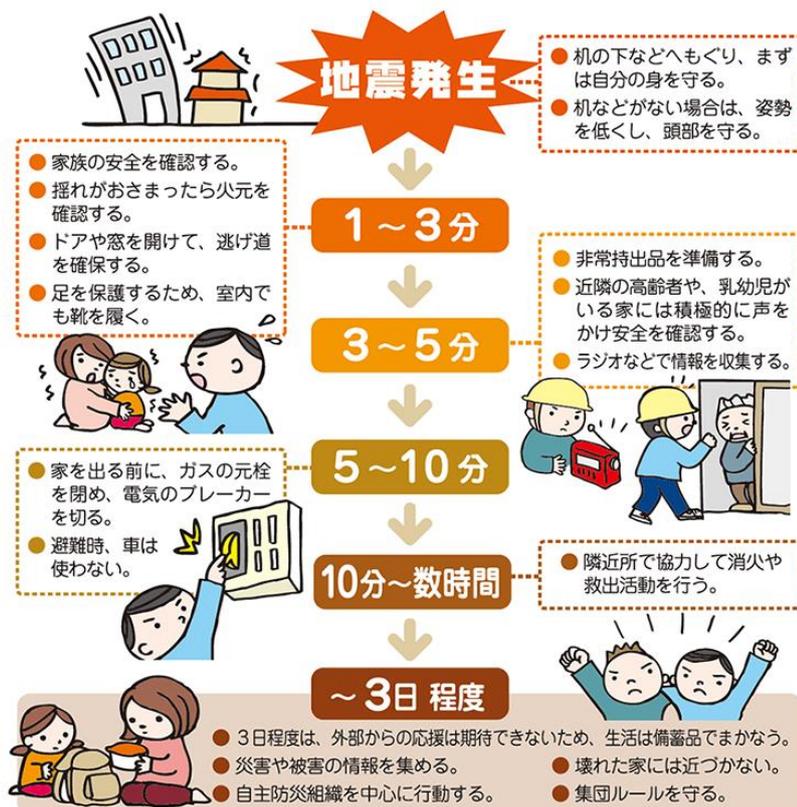
身の安全を確保

転倒物、落下物、移動物から離れる。/**頭**を守る。

安全な場所に避難

外出先⇒係員の指示に従う。/**災害情報の把握。**
転倒物、落下物付近を通らない。/**高台に避難。**

②地震発生時の危険と対処の方法



③繰り返しの確認になりますが、集団で避難するときのおかしもち

ひなん たいせつ やくそく
避難をするときの大切な約束



資料引用：コラゾン 平井

①②③をまとめたものが以下の資料になります。

地震だ！まず身の安全

地震時の行動

- 揺れを感じたり、緊急地震速報を受けた時は、身の安全を最優先に行動する。
- 丈夫なテーブルの下や、物が「落ちてこない」「倒れてこない」「移動してこない」空間に身を寄せ、揺れがおさまるまで様子を見る。

【高層階(概ね)10階以上)での注意点]

- 高層階では、揺れが数分続くことがある。
- 大きくゆっくりとした揺れにより、家具類が転倒・落下する危険に加え、大きく移動する危険がある。

地震直後の行動

落ちついて火の元確認 初期消火

- 火を使っている時は、揺れがおさまってから、あわてずに火の始末をする。
- 出火した時は落ちついて消火する。

あわてた行動 けがのもと

- 屋内で転倒・落下した家具類やガラスの破片などに注意する。
- 瓦、窓ガラス、看板などが落ちてくるので外に飛び出さない。

窓や戸を開け 出口を確保

- 揺れがおさまった時に、避難できるような出口を確保する。

門や塀には 近寄らない

- 屋外で揺れを感じたら、ブロック塀などには近寄らない。

地震後の行動

火災や津波 確かな避難

- 地域に大規模な火災の危険がせまら、身の危険を感じたら、一時集合場所や避難場所へ避難する。
- 沿岸部では、大きな揺れを感じたり、津波警報が出されたら、高台などの安全な場所に素早く避難する。

正しい情報 確かな行動

- ラジオやテレビ、消防署、行政などから正しい情報を得る。

確かめ合おう わが家の安全 隣の安否

- わが家の安全を確認後、近隣の安否を確認する。

協力し合って 救出・救護

- 倒壊家屋や転倒家具などの下敷きになった人を近隣で協力し、救出・救護する。

避難の前に 安全確認 電気・ガス

- 避難が必要な時には、ブレーカーを切り、ガスの元栓を締めて避難する。

資料引用:東京消防庁

④地震時の避難経路、避難場所について

- 学校にいるときは、教室に掲示してある避難経路を確認してください。
- 街中には避難場所の看板等がありますので、個人や家族で避難場所を確認しておいてください。

⑤災害時の安全確保（家庭

【屋内】…家具の転倒、落下物や移動を防ぐ対策、家の補強、非常持ち出し品の準備など。

【屋外】…地震時に転倒、落下しやすい物や場所の確認（塀、看板、自動販売機など。）

【地域環境】…崩れやすい崖、氾濫しやすい河川の確認。

★地震への備えは「身の安全の備え」「初動対応の備え」「確かな行動の備え」になります。家族で地震に対する備えを話し合い、準備を進めていきましょう。

◎正しい情報の入手

※災害時は、間違った情報が流れやすい。⇒正しい情報を入手して行動すること。

○**防災情報**…気象庁（公共機関）から発表される気象情報や津波警報。

○**緊急地震速報**…気象庁が地震や震源を予測して発表する情報。（スマホ、TV、PC、ラジオ）

災害伝言サービス（通信混雑時に！）
災害伝言ダイヤル(171)/災害伝言版(web171)